



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校 校長室だより

R2.1.8 No. 88

○ 新しい目標を持ち、進級・進学に備える3学期に

新年明けましておめでとうございます。3学期が始まり、子どもたちが登校し元気で明るい顔が見られ、元気な声を聞くことができたことを大変うれしく思います。冬休み中、おかげさまで、全校児童全員が大きな事故やけがもなく過ごすことができました。保護者や地域の皆様方のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。





さて、子どもたちは、新年を迎えるにあたってどんな目標を立てたのでしょうか。「一年の計は元旦にあり」と言われるように、「今年はこの年をしたい。」「こんなことを頑張りたい。」と自分なりの目標をたて、それに向かって進んでいくことはとても大事なことです。

3学期は51日(6年生は45日)と短い日数ではありますが、子どもたちにとっては次の学年のステップとなる大事な時期となります。一日一日の成長は自分ではなかなか気が付きませんが、「継続は力なり」という言葉のとおり、毎日の継続した努力が自分を作っていきます。自分がしたことは、目に見えることも目に見えないことも含めて、自分に還ってきます。自分で立てた目標・めあてや計画が実行できるように、3学期も努力して欲しいと思います。

本年も、教職員一同、子どもたちの健やかな成長をめざして一層努力いたします。今後とも、旧年に変わらぬご理解とご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

○ 3学期の主な行事予定 (予定ですので変更する場合があります。)

1月	2月	3月
8日(水) 始業式	1日(土) 6年保護者南条中入学説明会	2日(月) 集団下校
9日～23日 校内カルタ大会	8日(土) 自由参観日	9日(月) 卒業生を送る会
15日(水) ノーネット・デー(～21日)	なわとび大会・PTA 研修会(ネット関連)	11日(水) 卒業式予行
16日(木) 校外学習(3年)	10日(月) 振替	13日(金) 卒業証書授与式
20日(月) 集団下校	12日(水) 中学校入学説明会(6年)	24日(火) 終業式・修了式
23日(火) 租税教室(6年)	13日(木) ノーネット・ノーゲーム・ノーテレビデー(～19日)	25日～31日 学年末休業
24日(金) 郡特別支援学級合同学習会		27日(金) 離任式
30日(木) 校外学習(5年)		 祝卒業
※申し訳ありませんが、4・5年のスキー教室は中止とさせていただきます。		

○ ペップトークについて

ペップトークとは、スポーツの試合前に、監督やコーチが選手を励ますために行う短い激励のスピーチのことです。「Pep」は英語で、元気・活気・活力という意味があります。スポーツ現場はもちろん、家庭や職場などで、すぐに実践できるシンプルでポジティブ(積極的、肯定的、楽観的)な言葉を使ったコミュニケーションです。ラグビーの試合前に、ペップトークにより、屈強な選手たちが涙を流し、士気を高めている様子をご存知の方もいらっしゃると思います。

ペップトークの4つのポイント

- (1) 受容(事実の受け入れ) (2) 承認(とらえかた変換)
- (3) 行動(してほしい変換) (4) 激励(背中への押し)

(1)の「受容」では、相手の感情や状況をいったん受け入れることから始めます。緊張や不安、悩んでいる時、その人の感情をくみ取ると心にスペースができます。そうしたスペースができると、相手が言っていることを受け入れる余裕ができます。

- ・「昨日は緊張であり眠れなかったみたいだね」(大切な大会の前)
- ・「いま、会社の売り上げは前年比マイナス10%になっている」(経営者が社員に)

このように、今、相手の置かれている状況や感情を受け入れさせるのです。

次に(2)の「承認」で、そうした感情や状況をプラスの表現に転換します。

- ・「昨日は緊張であり眠れなかったみたいだね(受容)。それは、君が本気でこの大会を成功させたいと思っている証拠だよ(承認)。」(大切な大会の前)

- ・「今、会社の売り上げは前年比マイナス10%になっている(受容)。この状況は、今までのやり方を見直し、業務をシンプル化するチャンスである(承認)。」(経営者が社員に)

この時点で、相手は今を受け入れ、それをプラスの感情へと変えていきます。

そして、(3)の「行動」では、まさにしてほしい行動を促します。

- ・「ベストを尽くそう。」「自分たちの力を出しきろう。」「仲間を信じてパスを回そう。」「試合に勝つために……」
- ・「落ち着いて最後まで問題を読もう。」「できそうな問題から解いていこう。」「試験に合格するために……」
- ・「お客様の悩みに寄り添って話を聞こう。」「お客様から契約をいただくために……」

今、その人にしてほしい行動について言い、何をすべきか理解させます。

そして、最後、(4)の「激励」は、相手を送り出す言葉です。ここは相手の性格を考えながら、その人にふさわしい言葉を投げかけます。

- ・「さあ、行ってこい。」「大丈夫、君ならできる。」「笑顔でいこう。」「一緒に頑張ろう。」「何があっても助けに行くから。」「みんなで応援しているからね。」「ゴールで待ってるよ。」

以上の4つを組み立てるだけで、相手のやる気を引き出したり、相手を元気づけたりすることができるのがペップトークの特徴です。それも1分くらいの話でまとめられるため、相手も話を十分に理解し、本来持っている力を発揮できるのです。

他にも重要なポイントとして、「ポジティブな言葉を使う」「短い言葉を使う」「わかりやすい言葉を使う」「相手が一番言ってほしい言葉を使う」「相手の心に火をつける本気の関わり」の5つがあります。

大切な大会や試合、入試の前などに使うだけではなく、普段の登校前にも意識的に使って、お子様を学校に送り出してあげてはいかがでしょうか。